



## Perfume・かしゆかが店主を務めるCasa BRUTUS連載「かしゆか商店」 中川政七商店とのポップアップストアを全国4都市で初開催 日本の工芸の粋を集めた7年間の軌跡、ムック本やオリジナル商品を発売



1716年創業の奈良の老舗・株式会社中川政七商店（所在地：奈良県奈良市、代表取締役社長 千石あや）は、株式会社マガジンハウス（本社：東京都中央区、代表取締役社長 鉄尾周一）発行のライフスタイルマガジン『Casa BRUTUS』と協業し、Perfumeのかしゆかさんが店主を務める「かしゆか商店」のポップアップストア「かしゆか商店 リアルストア」を、2025年3月12日（水）より東京・奈良・広島・福岡の全国4都市で巡回開催いたします。

「かしゆか商店」は、雑誌『Casa BRUTUS』の連載から生まれた、日本各地の伝統工芸の「粋」を集めたバーチャルショップです。店主兼バイヤーのかしゆかさんが、2018年から全国80カ所以上の産地を巡り、誌面で工芸品を紹介してきました。その7年間の軌跡をまとめたムック本の発売を記念し、中川政七商店でポップアップストアを開催します。会場では、誌面で取り上げた全国54カ所の作り手による工芸品を展示販売。さらに、中川政七商店と共に開発した8種のオリジナル商品も、数量限定で登場します。

かしゆかさんと初のコラボレーションを展開する中川政七商店は、「日本の工芸を元気にする！」をビジョンに掲げる奈良の老舗。工芸を未来へ残す想いに共鳴し合い、2023年より取り組んでまいりました。工芸に普段触れる機会の少ない方にも、店主・かしゆかさんとともに産地を巡るような気持ちで楽しめるポップアップストアです。

### 「かしゆか商店 リアルストア」開催概要

イベント会期：

【東京】3月12日（水）～4月8日（火）中川政七商店 渋谷店（初日は整理券入場制\*）

【奈良】4月16日（水）～5月6日（火）中川政七商店 奈良本店

【広島】5月14日（水）～6月3日（火）中川政七商店 ミナモト広島店（特設区画内）

【福岡】6月11日（水）～7月1日（火）中川政七商店 福岡天神店（特設区画内）

アートディレクター：熊谷彰博 / イラストレーター：三宅瑠人 / フォトグラファー：深水敬介

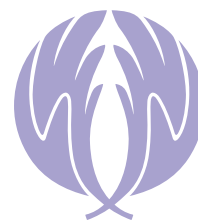
特設サイト：<https://nakagawa-masashichi.jp/kashiyuka-shoten>

お問合せ先：中川政七商店 渋谷店 03-6712-6148

※整理券配布場所：渋谷スクランブルスクエアB1F KINOKUNIYA側入口 / 配布時刻：9:15～9:50

### 『Casa BRUTUS 特別編集 古今東西かしゆか商店』販売情報

発売日：2025年3月12日（水） / 定価：2200円（税込） / 出版社：株式会社マガジンハウス  
取扱場所：全国の書店、コンビニエンスストア、ネット書店



かしゆか  
商店

## 全国4都市を巡回する、初の「かしゆか商店 リアルストア」

店主・かしゆかさんがこれまで訪ねてきた全国の産地から、54箇所の作り手の商品をセレクトし、展示販売します。例えば20代の若い職人さんが生み出す長野県の「茶碗籠」や店主が愛用する山形県の「鉄瓶」、実際に曲げわっぱづくりを体験した思い出深い秋田県の「白木丸弁当箱」など、7年の月日の中で実際に足を運び、その手仕事を見つめ、心を動かされた「逸品」が集まっています。

※手仕事品のため商品の数に限りがございます。また一部商品は、展示のみとなります。



手績み手織り麻で仕立てた特製の暖簾がお出迎え。店内一面に広がる商品には、店主執筆のコメントを添え、実際の使用感やおすすめの使い方を紹介しています。また渋谷店の大型モニターでは、かしゆかさんが産地を巡る様子をまとめたスペシャルムービーを限定公開。工芸の粋を集めた、特別な巡回展をお楽しみください。

かしゆか商店の商品を購入された方は、イラストレーター・三宅瑠人氏 描き下ろしによるオリジナルイラスト入り限定ショッパーが購入可能。「工芸日本地図」と題するイラストには、店主・かしゆかさんがこれまで訪れた全国の産地を象徴する工芸品が、日本列島の形をなすように配置されています。(大小2サイズ/税込各55円)

### かしゆか商店 店主・かしゆかさんメッセージ

7年かけて買い付けてきた全国の伝統工芸品たち。

私自身、直接工房に伺い話を聞いて手に取る事で、長く愛されてきた理由を実感してきました。

自然とともに共生し、その土地の気候だからこそ生まれてきたものたち。

だからこそ長く使い、壊れたら直すことができる。

便利とは言えないかもしれない。生活を楽にしてくれるわけではないかもしれない。

だけど自分の生活と向き合い愛するきっかけをくれる。

自分の生活の中に取り入れるとしたら…想像しながら手に取ってもらえると嬉しいです。

店主のこだわりと思い出が詰まった、オリジナル商品

※すべて税込表記

店主・かしゆかさんが日本各地で出会った工芸とともに開発したオリジナル商品ができました。店主の好きな「藤色」「亜麻色」「白練」をキーカラーにした和紙箱や組紐のストラップ、コーヒーをたっぷり飲める九谷焼マグカップ、愛猫リヨンをモチーフにした高崎だるまなど、かしゆかさんが全国を巡った思い出をそばに感じていただけるラインアップです。

※手仕事のため商品の数に限りがあります。なお各店舗で販売数に上限を設けるため、オリジナル商品は4都市すべてで販売します。



九谷焼のコーヒーマグカップ・ドリッパー

連載一回目に訪れた、九谷焼の森岡希世子さんと作るマグカップとドリッパーです。／マグカップ 7,700円、ドリッパー 16,500円  
※ドリッパーは超少量生産となります



伊賀組紐のストラップ(2色・2サイズ)

伊賀の「松島組紐店」が作る組紐の美しさに感動した店主が、毎日そばで感じたい想いから携帯ストラップに仕立てました。／ロング 各8,800円、ショート 各5,500円



八尾和紙箱

手漉きの八尾和紙を作り続ける「桂樹舎」と和紙箱を作りました。蓋は店主が全国を巡った思い出を散りばめた図案。大人向けの大切な物入れに。／9,900円



桐生刺繍のトートバッグ

織物の街・桐生市で刺繍加工を営む「笠盛」による、刺繍の繊細なディテールが楽しめるトートバッグ。A4が入る、エコバッグのように持ち運べるサイズ感です。／5,500円



和紙の京扇子

京扇子の老舗「白竹堂」と作った扇子は、店主が全国を巡った思い出を散りばめ、主張しすぎず開く度に楽しめるデザインに。男女問わず持ちやすいカラーです。／7,700円



かや織ふきん(2色)

かつて蚊帳に使われた、奈良の工芸・かや織。綿のかや織を5枚重ねたふきんに、店主が全国を巡った思い出を散りばめました。／各550円  
※本商品のみ全国の中川政七商店で販売予定



淡路島線香「耽」

淡路島の香老舗「梅薫堂」と作る線香。店主が好きな白檀と乳香をベースに、焚くと甘く香る調合にしました。旅先に持っていくのもおすすめです。／2,750円



高崎だるまリヨン(2色)

だるま生産量日本一の高崎市で、「だるまの幸喜」と作った念願のリヨンだるま。店主の愛猫リヨンが、招き猫としてだるまを抱えている縁起物です。／各9,900円

## ご参考資料

### かしゆか (Perfume)

音楽ユニットPerfumeのメンバー。

Perfumeは今年結成25周年&メジャーデビュー20周年で、

現在全国11都市を巡るアリーナツアー「Perfume 10th Tour ZOZ5 "ネビュラロマンス" Episode 1」を開催中。

今年9/22(月) & 9/23(火・祝)には東京ドーム公演の開催が決定している。

伝統工芸への興味・関心が深く、カーサ ブルータスで連載中「古今東西 かしゆか商店」では

店主兼バイヤーとして日本各地80か所以上のさまざまな手仕事の現場へ訪れている。

#### 【Perfume オフィシャルサイト】

<https://www.perfume-web.jp>

#### 【Instagram】

Perfume: [https://www.instagram.com/prfm\\_official/](https://www.instagram.com/prfm_official/)

かしゆか: [https://www.instagram.com/kashiyuka.prfm\\_p000003/](https://www.instagram.com/kashiyuka.prfm_p000003/)

### 連載「古今東西 かしゆか商店」

ライフスタイルマガジン『Casa BRUTUS』にて、2018年4月号より連載中。

店主兼バイヤーのPerfume・かしゆかが毎号気に入った作品を買い付けする、

日本各地の伝統工芸の「粋」を集めたバーチャルショップです。

日常を少し贅沢にするもの。日本の風土が感じられるもの。

自分自身が使いたいもの。そんな手仕事を探して、全国を巡ります。

### 株式会社中川政七商店

1716年(享保元年)に創業し、300余年を迎える奈良の老舗。「日本の工芸を元気にする!」をビジョンに掲げています。工芸業界初のSPA(製造小売り)業態を確立し全国に約60の直営店を展開するほか、合同展示会・業界特化型の経営コンサルティング・教育事業など多岐に渡り拡大しています。2021年4月にはまちづくりの拠点である複合商業施設「鹿猿狐ビルヂング」を創業地に開業。奈良という地からビジョン実現に向け取り組んでいます。